

川崎市地球温暖化防止活動推進センターだより



エコちゃんず通信 No. 24

No. 24

2016. 1. 25 発行

エコちゃんず通信は、CC かわさき交流コーナーにある川崎市地球温暖化防止活動推進センターのニュースレターで年4回発行します

10月7日 秋のエコぶらっとかわさきC³見学会

『ミックスペーパーのゆくえと』R貨物の貨物輸送



後ろは、トイレトペーパーの大きなロール。次に細い通常使うトイレトペーパーの太さに巻かれて一つ一つ裁断されていきます。

秋の見学会は、3R月間にちなんで、川崎で全市収集しているミックスペーパーをトイレトペーパーにリサイクルする株式会社三栄レギュレーター川崎工場と、幸区にある日本鉄道輸送株式会社関東支社新川崎機関区の見学を行い、環境にやさしい鉄道輸送について学びました。

雲ひとつない秋晴れという絶好の見学日和、個人ではなかなか入れない工場や施設をじっくりと見学させていただきました。ていねいな対応と取り組み内容の豊富さに、参加者一同大満足で、質問も熱心に飛び交いました。(S)

ビオトープ講習会を開催しました

地球温暖化に備える「適応策」の一つである「ビオトープ」を活用した環境教育プログラム開発の第一歩として、今年度は「ビオトープ」の基礎を学ぶ講習会（全3回）を開催しました。

高津区は区内全小学校にビオトープがありますが、今回は下作延小学校を見学し、最終日には、体験学習の一環で管理している小学3年生の発表も聞かせていただきました。(S)



ノクティプラザの清潔感あふれるリサイクルセンター 拝見!

溝の口駅前の大型商業施設『ノクティプラザ』の管理運営を行っている「みぞのくち新都市株式会社」に、事業者の廃棄物処理の状況を見せていただきました。

同施設では、廃棄物処理費の削減に向けて検討をスタート。分別を徹底して資源化をすすめるこ



ごみ処理機と分別の一部を石井さんに紹介していただく

とで、2年前に比べて処理コストは約2割も減ったそうです。

「テナント様に分別への協力を要請するにあたり、まずは環境づくりが第一と考え、『ごみ処理室』という名称を『リサイクルセンター』へ変更。清掃や照度の改善で快適な状態を保ち、暗く汚い場所というイメージを払拭しました。また、掲示物を分かりやすく統一し、自分たちも再資源化に参加している意識を持っていただくように工夫しました。」と管理部の石井さん。

現場を見せていただくと、とにかく整理整頓され、きれいな事に驚きました！分別コーナーのタイトルも明確で、出すときのポイントやリサイクルされたら何になるかも大きく書かれていることなども素晴らしいと思いました。(S)

編集後記

2020年以降の地球温暖化対策の新たな国際枠組み「パリ協定」が採択されました。排出量を早期に減少へと転じ、今世紀後半には、温室効果ガスの排出を「実質ゼロ」にすることも目指しています。私たちもできることから、一歩進んで削減に取り組ましましょう。(T)

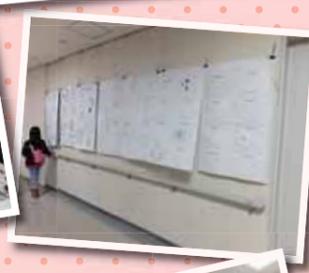
発行：川崎市地球温暖化防止活動推進センター
〒213-0001 川崎市高津区溝口1-4-1
ノクティ2 11F 高津市民館内
電話：044-813-1313 FAX：044-330-0319
メール：office@kwccca.com
URL：<http://www.cckawasaki.jp/kwccca/>

川崎市地球温暖化防止活動推進センターは、川崎市から指定を受けた認定NPO法人アクト川崎が運営しています。

【開館日】火曜日～日曜日 午前9時30分～午後5時30分 【閉館日】月曜日ただし第3月曜日が祝日の場合は、翌日も閉館

第3回 かわさき環境フォーラム開催!

2015年12月4日(土) 高津市民館11階およびキラリデッキで第3回かわさき環境フォーラムが開催されました。「たちばな農のある暮らし写真展」、自転車発電などの環境体験イベント、いろいろなエコ工作教室、かわさき環境ニュース上映、講演会「気候変動の地元学」の他、新しい取組として「いらなくなったものを交換するXチェンジ」、子どもたちの「環境絵画展」などさまざまな催しが行われ、850名の来場者がありました。同時開催されたおもちゃ病院も好評を博しました。(T)



2015年

10月のテーマ展示 3Rを楽しもう リデュース・リユース・リサイクル もっともっと2R / 3R



3Rをテーマに、身近な話題にスポットを当てながらの多彩な展示となりました。

「容器包装 いま・おかし」で歴史をひもときつつ、川崎市内の2Rを見つける「かわさき2Rマップ～(レジ袋削減、みんなでつく

ろう、おすすめスポット)」の参加型展示のほか、かわさき発エコ商品4社の製品を展示しました。身近な「風呂敷&スカーフ・リメイク編」では素敵な風呂敷の使い方、「わたしのおすすめ容器包装」では環境配慮型の容器包装を展示紹介。講座では、株式会社アイ・ピー・エスの方を講師に、「プロに学ぶお掃除術&簡単リメイク」として、雑巾やホウキの使い方、手洗い実験、保冷材を活用した消臭剤作りを開催し、好評でした。(S)



省エネ4社
日本理化学工業株式会社
株式会社ユニオン産業
NPO法人川崎市民石けんプラント
佐野デザイン事務所



11月のテーマ展示

省エネ



展示では、小学5年生による「夏休みエコライフチャレンジ」の結果や、「うちエコ診断」の結果や傾向をまとめて、だれでもできる省エネを紹介しました。また、「電気に頼らない・無電力」というタイトルで、ばねやゼンマイを動力にした製品や、太陽光照明の紹介のほか、無電力を体感できる展示を行い好評でした。

講座では、「捨てられているエネルギーを活用しよう!」と題して、音や振動など環境中に放出され

捨てられているエネルギーから発電できる技術を紹介しました。人が歩くと床が振動して発電する「発電床」は停電時に避難誘導照明に利用できるなど、参加者も電気に頼らない技術に納得した様子でした。(N)



12月のテーマ展示

地球温暖化

12月にパリで開催された気候変動枠組条約第21回締約国会合(COP21)では、温暖化防止の新たな国際枠組み「パリ協定」が成立しました。テーマ展示も、温暖化防止に向けた国際社会と日本の歩みを年表にして解説したり、COP21特集コーナーを設け、会議の進捗やパリ協定のポイント等を速報しました。

また、12月17日に開催した講座「アイスも地球も

溶けちゃう前に!地球温暖化防止のために世界が動く、私も動く」では、アイスクリーム会社、ベン&ジェリーズから講師を招き、同社のユニークな企業理念と温暖化防止の取組みを伺いました。そして、温暖化防止フレーバーのアイスをいただきながらのディスカッションで、大きく動いている世界の中での日本、個人のあり方を考えました。(R)



ワークショップ+講演会

『気候変動の地元学』への取組



今年の箱根駅伝、走る方も応援する方も、例年に比べて「暖かい」と感じたようですね。「気候変動」は、そんな気温の変化だけでなく、雨、雪、雲など、あらゆる気候の変化のことで、「地球温暖化」は気候変動の現象の一つといえます。

『気候変動の地元学』は法政大学サステナビリティ研究所の白井信雄教授が提唱されているもので、地域における気候変動を地域の我々が調べ、今後の対応を自分のこととして、地域で考えていくものです。当センターでも白井教授と連携しながら、今年度から活動を開始しています。

11月21日のワークショップでは、それまでに集めた「気候変動だと感じている事例」を紹介しながら、参加者から新たな事例を募るとともに、今後の進め方について話し合いました。12月5日のかわさき環境フォーラムでは、白井教授による「気候変動時代の地域づくり・市民の役割を考える」講演会を開催しました。気候変動は、毎日の食卓に上がる野菜・果物、身近に起こる災害にも影響を及ぼします。みなさんも、一緒に学び、対応策を考えていきませんか。(T)

